



平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月12日

上場会社名 萩原工業株式会社

コード番号 7856 URL <http://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業支援部門長

(氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 平成28年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第3四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第3四半期	16,690	0.9	1,980	8.4	1,915	3.1	1,489	28.9
27年10月期第3四半期	16,548	0.9	1,828	13.8	1,857	16.6	1,155	15.1

(注) 包括利益 28年10月期第3四半期 959百万円 (△32.8%) 27年10月期第3四半期 1,426百万円 (33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第3四半期	205.87	—
27年10月期第3四半期	155.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第3四半期	25,126	17,715	70.5
27年10月期	24,731	17,154	69.4

(参考) 自己資本 28年10月期第3四半期 17,714百万円 27年10月期 17,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	20.00	—	30.00	50.00
28年10月期	—	25.00	—		
28年10月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	6.5	2,500	5.9	2,500	4.5	1,800	23.7	248.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年10月期3Q	7,448,800 株	27年10月期	7,448,800 株
28年10月期3Q	215,132 株	27年10月期	215,045 株
28年10月期3Q	7,233,712 株	27年10月期3Q	7,441,459 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調にはあるものの、新興国や資源国等の景気下振れリスク、さらに欧州情勢の不確実感の高まりなど、先行きの不透明感が深まりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画(DH56)の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高166億90百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益19億80百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益19億15百万円(前年同四半期比3.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14億89百万円(前年同四半期比28.9%増)となりました。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、国内向け人工芝原糸、粘着テープ・カーペット基材等の生活関連資材は堅調に推移しました。コンクリート補強繊維は国内向けが好調でしたが、海外向けは資源価格の低迷等により販売は伸び悩みました。海外向けメルトタッククロス、農業資材用ラミネートクロスは、販売は堅調でしたが、円高により収益性が低下しました。国内向け機能性及び汎用シートを中心とする建築資材、並びにフレコン袋を中心とする一般産業資材は、ほぼ昨年並みとなりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」及び中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、日本向け輸出が伸び悩む中、経費削減の推進等により、収益性が改善しました。

その結果、売上高132億28百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益16億79百万円(前年同四半期比17.0%増)となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、海外向け光学系特殊機の販売は順調でしたが、国内向けの光学系、軟包装系向け標準機及び紙分野が低調な動きになりました。海外向け軟包装系も中国市場の低迷、海外メーカーとの競争激化により、厳しい結果となりました。

押出関連機器は、食品容器用及び高機能樹脂用が堅調に推移しましたが、リサイクル関連機器は、市場の慎重な設備投資姿勢の継続により低調な動きになりました。

その結果、売上高34億61百万円(前年同四半期比0.9%減)、営業利益3億1百万円(前年同四半期比23.3%減)となりました。

(2) 財政状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は251億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は162億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億83百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少及び利益剰余金の増加により、現金及び預金が16億32百万円増加したこと等によります。

固定資産は88億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億88百万円の減少となりました。これは円高により在外子会社の固定資産の円換算額が減少したこと等によります。

負債の部では、流動負債は60億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円の減少となりました。これは前受金が増加した一方、短期借入金及び賞与引当金が減少したこと等によります。

固定負債は13億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が減少したこと等によります。

純資産の部は前連結会計年度末に比べ5億61百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は70.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月7日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表の損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,379,913	6,012,872
受取手形及び売掛金	6,350,831	5,653,429
商品及び製品	1,089,021	981,098
仕掛品	2,103,241	2,201,710
原材料及び貯蔵品	779,075	721,665
その他	756,324	670,433
貸倒引当金	△2,183	△1,846
流動資産合計	15,456,224	16,239,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,157,859	2,108,519
機械装置及び運搬具(純額)	2,468,759	2,074,585
工具、器具及び備品(純額)	120,927	173,935
土地	2,233,452	2,287,280
建設仮勘定	264,461	231,549
有形固定資産合計	7,245,460	6,875,870
無形固定資産		
その他	184,539	135,105
無形固定資産合計	184,539	135,105
投資その他の資産		
保険積立金	1,223,359	1,292,543
その他	621,868	583,458
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	1,845,187	1,875,962
固定資産合計	9,275,187	8,886,938
資産合計	24,731,412	25,126,301

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,646,515	1,429,847
電子記録債務	1,212,365	1,543,238
短期借入金	871,006	664,686
未払法人税等	462,305	303,651
賞与引当金	484,124	269,872
製品保証引当金	59,371	54,726
その他	1,358,227	1,777,151
流動負債合計	6,093,916	6,043,175
固定負債		
長期借入金	716,448	461,987
役員退職慰労引当金	216,963	232,876
退職給付に係る負債	383,529	486,266
その他	166,189	186,596
固定負債合計	1,483,130	1,367,727
負債合計	7,577,047	7,410,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,393,185	1,393,185
利益剰余金	13,605,968	14,697,334
自己株式	△395,933	△396,149
株主資本合計	16,381,606	17,472,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,948	16,802
繰延ヘッジ損益	3,117	△26,778
為替換算調整勘定	453,843	53,761
退職給付に係る調整累計額	277,643	197,762
その他の包括利益累計額合計	771,553	241,547
非支配株主持分	1,205	1,094
純資産合計	17,154,364	17,715,398
負債純資産合計	24,731,412	25,126,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
売上高	16,548,939	16,690,033
売上原価	12,030,357	11,966,986
売上総利益	4,518,581	4,723,047
販売費及び一般管理費	2,690,543	2,742,102
営業利益	1,828,037	1,980,944
営業外収益		
受取利息	2,995	3,794
受取配当金	2,113	2,299
受取保険金	87,133	32,420
その他	34,266	23,715
営業外収益合計	126,508	62,229
営業外費用		
支払利息	12,175	12,215
売上割引	24,941	23,870
為替差損	15,416	78,806
保険解約損	12,960	—
自己株式取得費用	22,080	—
その他	9,006	12,569
営業外費用合計	96,581	127,461
経常利益	1,857,965	1,915,711
特別利益		
収用補償金	—	322,629
特別利益合計	—	322,629
特別損失		
設備移転費用	44,644	—
特別損失合計	44,644	—
税金等調整前四半期純利益	1,813,320	2,238,341
法人税等	658,003	749,009
四半期純利益	1,155,317	1,489,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155,253	1,489,220

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)
四半期純利益	1,155,317	1,489,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,806	△20,146
繰延ヘッジ損益	24,023	△29,896
為替換算調整勘定	255,788	△400,304
退職給付に係る調整額	△26,409	△79,881
その他の包括利益合計	271,209	△530,227
四半期包括利益	1,426,526	959,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,426,212	959,214
非支配株主に係る四半期包括利益	314	△110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,057,484	3,491,454	16,548,939	—	16,548,939
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	129,533	129,533	△129,533	—
計	13,057,484	3,620,988	16,678,472	△129,533	16,548,939
セグメント利益	1,435,505	392,532	1,828,037	—	1,828,037

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,228,338	3,461,694	16,690,033	—	16,690,033
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	123,234	123,234	△123,234	—
計	13,228,338	3,584,929	16,813,268	△123,234	16,690,033
セグメント利益	1,679,750	301,193	1,980,944	—	1,980,944

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。